

カニ繁事ノ解決ヲ望ム  
三、以上ノ解決ニ就テ國粹會ハ奮起セリ兩者間ニ立ツベキ調停者ハ上下伊那縣議警察官兼地本町村長其他有力者ノ参加ト會社、團ヨリ適當ノ代表者則チ交渉委員ヲ選ミ相當ノ期間ヲ定メ協議決定シタシ

四、此ノ期間交通機關ノ杜絶状態ハ到底上下伊那郡民衆ノ爲メ忍ブ能ハザル次第ナレバ運轉ヲ速ニ開始スルヲ開始スル上ニ於テ處要人員ハ解体勤務ニ從事セシムル事  
五、現在集團ノ一部ヲモ割ク事ノ不可能トセズ會社ニテハ處要人員ヲ雇入其運轉ヲ開始スル事  
六、團モ處要人員ヲ割カズ會社モ現在ニ甘シジ人員ノ雇人ヲモナサズ舊態ニ回復スルノ上ニ於テ公利公益ノ爲メ國粹會ニ處要人員ヲ滿タシムベク了解セラレタシ

明ケテ廿九日左ノ回答ニ接シテ眞ニ失望ニ落膽、呆然タラザルヲ得ザルト公利公益ノ爲メ悲痛セザルヲ得ズ

### 交渉案ニ對スル回答

今回ノ伊那電氣鐵道株式會社對從業員ノ爭議ニ就テハ貴會ヨリ吾ガ爭議團ニ寄セラレタル交渉案ニ對シ吾ガ爭議團ニ於テハ貴會ノ提示セラレタル交渉案ヲ基本トシテ慎重審議セシ結果左ノ如ク決定セルコトヲ御回答ス

一、貴團ヨリ提示ノ第一、第二ノ條件ニ就テハモトヨリ吾々爭議團トモ其當初ヨリ決シテ爭議ヲ起シ兩郡ノ郡民諸彦ニ迷惑ト不使ヲカケルコトヲ目的トシテ居ルモノデハ絕對ナイ只吾々從業員ノ待遇ガ餘リノ低率ニアルノヲ改善セントシテ已ヲ得ス今回ノ學ニ出ヅルモノデアル素ヨリ我等爭議團ハ一日モ早ク爭議ノ解決ヲ見テ郡民諸彦ノ不使ト迷惑ヲ除去セン事ヲ切望シテ居ルモノデアル

二、第三ノ件ニ就テハ少ナクトモ労働問題ニ對シテ充分理解ト同情ト公正トノ條件ノ具備セザル限リ爲シ得ザル事デアル

三、第四ノ件ニ就テハ言フ迄モナク爭議團トシテハ問題ノ解決セザル以上ハ到底不可能ノ事デアル  
四、第五、第六ノ件ハ明カナル貴團ガ嚴正中立ノ立場ニ於テ調停スルト言フノデアルガ會社ノ利益ヲ廢ス爲メノ手段デアツテ其言葉ノ内容ハ明カニ中立ノ立場デナイ事ヲ顯取スル  
以上ノ見解ニ於テ我ガ爭議團ハ貴會ノ調停申込ニ對シ絕對ニ其調停ヲ謝絶シ同時ニ今後貴會ニ於テ今回ノ爭議ニ對シハ何等干涉セザル事ヲ望ム其理由トスル處ハ貴會ト爭議團ト軋轢ヲ生シ徒ラニ犠牲ト郡民諸彦ニ不安ト迷惑ヲ與フル事ヲ欲シナイカラデアアル

大正十五年五月二十九日 日本労働総同盟信州交通労働組合

伊那電氣鐵道從業員労働爭議團

二郡 國粹會幹部 御中

去リトテ此ノ儘己ムナキモノニアラズ會ハ上下伊那郡三十萬民衆ノ爲メニ奮起セルモノトシテ如何ナル艱苦ニモ悲痛ニモ罵詈訕迫害ニモ穩忍自重如何ナル犠牲ヲ拂フモ會ノ使命ノ上ニ其目的ヲ貫徹スベク又々正義ハ最後ノ勝利ヲ期シ得ラルベク自己ヲ鞭撻シ鼓舞シ更ニ會社ニ向ヒ爭議團ニ提示セルモノト同一ナル案文ヲ携ヘ交渉セルニ午後五時伊原事務ヨリ嚴正中立ニシテ其誠意ノ存在ヲ認メ公利公益ノ爲ニ活躍セルヲ感謝セラレタル上事態ハ重大ニ付キ本社トモ親シク打合セテ要スベキニ付キ來ル三十一日迄回答ヲ延期セラレタシト  
以上ニ於テ會モ之レヲ諒トシテ更ニ此ノ回答ヲ得テ行動セントスルモノナリ國粹會ハ滿腔ノ赤誠ヲ捧ゲテ爭議ノ速カナル解決ヲ祈リテ巷閭ニ又ハ或ル新聞紙ニ傳フル如キ至公至平ナク欠キ輕率盲動ヲ敢テナスモノニ無之希クハ是レヲ今後ニ徵セラレン事ヲ

長野縣國粹會